

令和4年度第6回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和4年9月20日（木）午前10時から11時まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、
大内あゆ子委員
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、鎌田さとみ学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

議第13号 令和4年度教育委員会優秀児童生徒の褒賞「宮城浩蔵賞」について
議第14号 天童市立学校の区域外就学及び指定校変更の承認に関する取扱い要綱
の一部改正について

報 告

（1）学校教育課

ア 令和4年度全国学力・学習状況調査について

各課からの連絡

（1）教育総務課

- ・松村委員の再任について
- ・9月補正予算の可決について
- ・台風14号による小中学校の休校対応について

（2）学校教育課

- ・学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況について
- ・地区中体連新人戦の実施について
- ・市教委学校訪問（荒谷小学校）について
- ・市教委公開研究会の開催について

（3）生涯学習課

- ・9月補正予算に係る天童北部公民館の修繕について
- ・ぽんぽこ里山コンサートの開催について
- ・西沼田遺跡ヌマリニックの開催について

（4）学校給食センター

- ・食器洗浄機の稼働について

< 教育長あいさつ >

おはようございます。暑い夏でしたが、最近めっきり涼しくなってきました。

はじめに若手教員の課題についてお話しします。やはり先輩の教員が考えてあげないと解決しないと思います。若い教員は未熟で不得意なところもあり指導について配慮していきたいと思っています。

まちづくり懇談会で出された要望や話題について、通学路の速度規制を30キロ規制にしてほしいという要望で、規制をするには地域住民の同意が必要になります。地域に呼びかけて、子供たちの通学路になっているので気を付けてあげましょうと呼びかける方が効果的でないかと返事させていただきました。

また、スクールバスで登下校させてほしいというご意見では、スクールバスは集合場所まで行く必要があること、将来、高校進学までどういう力が育ってほしいかという問題もあります。また、中学生は部活もあり、スクールバスの導入にはさまざまな課題があります。自分で自分の身を守る、それから地域の方が見守ることが基本ではないかとお話しし、ご理解をいただいたところです。それから、通学路の点検はどうなっていますかということで、例年どおりしっかり点検し、必要な安全措施をしておりますとお答えしました。

老人会や婦人会がなくなり、地域のつながりが薄くなっていることについて、全国的な課題であり、知恵を出し合いながら行政でもできることは支援しますとお話ししました。また、地域カフェ事業について各地区と連携できないかというご意見で、連携も計画しておりましたが、新型コロナで実施が難しくなっており、新型コロナが収まったら改めて実施しますとお話ししました。

結びに、松村委員が9月議会で再任の承認をいただきました。10月1日からまた4年間、また一緒にお仕事できることを大変うれしく思います。

< 議 事 >

議第13号 令和4年度教育委員会優秀児童生徒の褒賞「宮城浩蔵賞」について
＜決定する＞

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第14号 天童市立学校の区域外就学及び指定校変更の承認に関する取扱い要綱の一部改正について
＜決定する＞

審議経過

大内委員：地元の町内会長が、学校から遠いので大変心配していた。選択の幅が広がったことで、地域の方たちもよかったと思っている。

< 報 告 >

1 学校教育課 ア 令和4年度全国学力・学習状況調査について

意見等

工藤委員：全国との差が1問で、時間がなくて16問目が解けなかったのか、それとも16問全体で解けない問題が1問あったということなのか。

学校教育課長：時間がなく、最後の問題まで行けなかったということではない。学習状況調査の中にも、回答の時間は充分だったかという質問もあり、時間が足りないということではないようだ。

村山委員：家庭学習について、例えば午後4時に帰宅し、6時にご飯を食べ、8時にお風呂に入って9時に寝るとすると果たして2時間勉強できるのか。その間に、習い事や塾に通うことが家庭学習に入らないとすれば、寝るのが午後10時とか11時ぐらいになってしまう。

2時間集中して勉強することが大事だが、細かく隙間時間を活用しながら勉強できる方法を、上手く教える必要がある。また、テストではできるものから解くとか、時間配分も家庭学習でも教えていく必要がある。

松村委員：子供達に求める答えというものの方向性が素晴らしいと思う。今までは、結果が非常に重要で、その途中のプロセスはそんなに重視されず答えが合えばオーケーという考え方だった。

結果を見ると、その子供たちが根拠と成り立つ事柄を見ても、クリエイティブな発想を非常に重視して子供達に向き合っている。どんどん世の中が変わっていく中で、子どもたちがどのように自立していけるか、ただ答えが一つということではなくて、たくさんのクリエイティブな答え、そしてそこに気づくまでの表現力、そのことで人と人とがつながると思う。

ただ、今は共働きが多く、親と子供達とのスローライフする時間が足りない。でも感性は豊かにしたい。スローライフの素晴らしさ、一つ一つ手作りする喜び、そして表現を豊かにする感性を養う時間がない。

その中で本市の教育は、非常に方向性は素晴らしいので、どういうことを家庭に伝えていくことが大切なのか、そこをぜひ教えていただければ、家庭でも協力できると思う。

学校教育課長：本当に時間がない中で、親と子の関わりで暖かい家庭環境づくりなども重要である。

教育長：どういう方向に教育をしていくかということ、教育委員会から小中校長会に発信し、校長から学校経営の理念として伝えるということ、丁寧なやって

いきたい。

大内委員：算数と数学の数値が、小学校と中学校で同じぐらいの数字なので、小学校の時点でもっと算数が理解できていると、中学校では少し数学を理解できたのかと思う。

学校では、一つ一つ丁寧に教えているが、わからない子たちがまだいる。だけど、授業を進める必要があるので、わからない子どもたちはわからないままになってしまう。何が、どうわからないのかを家庭学習の中で教えてあげられればいいと思う。

学校教育課長：できない子どもたちのための支援も、上位層に対する支援も非常に大事で個別最適な学びと言うが、それぞれ持っている能力を充分出せるような問題だったり、教え合いも含めて工夫している。

子どもたちが、何のためにこの勉強をしているのかをきちんと理解し、これを勉強して生活でどう生かされるのかをきちんと理解して学びをすると、もっと勉強しようという気になるのかと思う。

工藤委員：いじめはいけないという認識について、天童市では100%になっていなければならないと思う。特に、小学校でもう少し真摯に向き合うことがあってもいいのではと感じる。

学校教育課長：おっしゃるとおりであり、いじめは本当にあってはならないことを校長から子どもに対し伝えてもらっている。起った場合の対応が非常に重要なこと、さらに未然防止できるように日常生活、道徳などの授業を通して、いじめはこれからもあってはいけないことだと伝えていく。

その他、意見等

特になし。

教育長：その他意見なし。以上で第6回教育委員会会議を終了します。